

第4章 温室効果ガス排出削減目標

1 削減目標の設定

本市における温室効果ガス排出量の削減目標は、

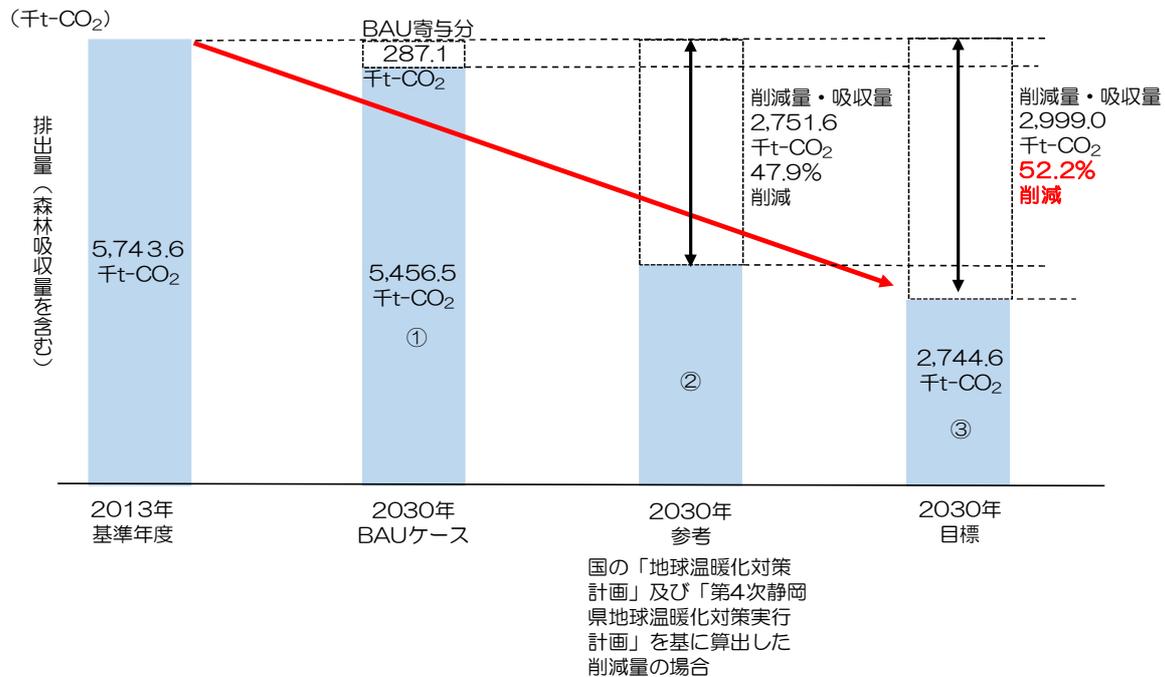
2030（令和12）年度において2013（平成25）年度比で**52%**削減

とします。

2013年度を基準として、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入などの脱炭素化に向けた追加的な対策をとらず、人口などの活動量のみが変化すると仮定した場合の温室効果ガス排出量を現状趨勢^{すうせい}又はBAU（Business as usual）ケースとし、その削減量は287.1千t-CO₂になります（図表4.1①）。

また、国の「地球温暖化対策計画」及び「第4次静岡県地球温暖化対策実行計画」を基に算出した削減量のみの場合、削減量は2,464.5千t-CO₂であり、BAU削減分を含んだ基準年度からの削減量は2,751.6千t-CO₂となり、基準年度比で47.9%の削減率になります（図表4.1②）。

本市としては、削減率を高めるため、国の「地球温暖化対策計画」を基に算定した削減量のうち、再生可能エネルギー導入に基づく削減量と森林吸収量を独自に算定し、それぞれを増やすことで、基準年度比52.2%（2,999.0千t-CO₂）を削減目標とします（図表4.1③）。



図表 4.1 削減目標の設定

浜松市の人口推計について

本市の2030年度における人口は、人口動態の現状趨勢が続いた場合（「浜松市将来推計人口」）には2013年度に対し▲5.48%と見込まれています。

浜松市は、「合計特殊出生率を2024年に1.84、2040年に2.07にする」及び「2024年度に東京圏との社会移動を均衡させる」ことにより、2060年の人口を681,000人にするという長期人口ビジョンを掲げています。この長期人口ビジョンによる人口を「浜松市将来展望人口」としています。

本計画では、本市の人口減少対策との整合を図り、人口減少は、2013年度に対し▲3.64%に留まる「浜松市将来展望人口」を用いて、BAUの算定をしています。

浜松市将来推計人口と将来展望人口

年度	2010	2013	2030	2013年度比
区分				
浜松市将来推計人口（人）	800,866	793,437	749,919	▲5.48%
浜松市将来展望人口（人）			764,564	▲3.64%

出典）「浜松市“やらまいか”人口ビジョン」（2020年3月）企画課

2 部門別の削減目標

(1) エネルギー起源二酸化炭素

産業部門の基準年度の排出量は1,321.6千t-CO₂であり、2020年度時点では363.7千t-CO₂を削減しており、2030年度までに合計707.9千t-CO₂（53.6%）の削減を目指します。

業務その他部門の基準年度の排出量は1,403.0千t-CO₂であり、2020年度時点では409.3千t-CO₂を削減しており、2030年度までに合計738.3千t-CO₂（52.6%）の削減を目指します。

家庭部門の基準年度の排出量は1,200.7千t-CO₂であり、2020年度時点では254.7千t-CO₂を削減しており、2030年度までに合計559.9千t-CO₂（46.6%）の削減を目指します。

運輸部門の基準年度の排出量は1,422.7千t-CO₂であり、2020年度時点では195.9千t-CO₂を削減しており、2030年度までに合計467.1千t-CO₂（32.8%）の削減を目指します。

(2) 非エネルギー起源の温室効果ガス

基準年度の排出量は395.6千t-CO₂であり、2020年度時点では522.1千t-CO₂（132.0%）に増加していますが、2030年度までに排出量141.6千t-CO₂を目指します。

図表 4.2 部門別の削減目標

(排出量・増減量・吸収量：千t-CO₂)

ガス種	部門・分野	【基準年度】 2013	2020	2021 削減目標	2022 削減目標	2023 削減目標	2024 削減目標	2025 削減目標	2026 削減目標	2027 削減目標	2028 削減目標	2029 削減目標	2030 削減目標	
エネルギー起源二酸化炭素(CO ₂)	排出量	5,348.0	4,124.4	3,999.4	3,874.5	3,749.5	3,624.6	3,499.6	3,374.6	3,249.7	3,124.7	2,999.8	2,874.8	
	産業部門	排出量	1,321.6	957.9	923.5	889.1	854.6	820.2	785.8	751.4	717.0	682.5	648.1	613.7
	増減量	-	▲ 363.7	▲ 398.1	▲ 432.5	▲ 467.0	▲ 501.4	▲ 535.8	▲ 570.2	▲ 604.6	▲ 639.1	▲ 673.5	▲ 707.9	
	増減率	-	▲ 27.5%	▲ 30.1%	▲ 32.7%	▲ 35.3%	▲ 37.9%	▲ 40.5%	▲ 43.1%	▲ 45.8%	▲ 48.4%	▲ 51.0%	▲ 53.6%	
	業務その他部門	排出量	1,403.0	993.7	960.8	927.9	895.0	862.1	829.2	796.3	763.4	730.5	697.6	664.7
	増減量	-	▲ 409.3	▲ 442.2	▲ 475.1	▲ 508.0	▲ 540.9	▲ 573.8	▲ 606.7	▲ 639.6	▲ 672.5	▲ 705.4	▲ 738.3	
	増減率	-	▲ 29.2%	▲ 31.5%	▲ 33.9%	▲ 36.2%	▲ 38.6%	▲ 40.9%	▲ 43.2%	▲ 45.6%	▲ 47.9%	▲ 50.3%	▲ 52.6%	
	家庭部門	排出量	1,200.7	946.0	915.5	885.0	854.4	823.9	793.4	762.9	732.4	701.8	671.3	640.8
	増減量	-	▲ 254.7	▲ 285.2	▲ 315.7	▲ 346.3	▲ 376.8	▲ 407.3	▲ 437.8	▲ 468.3	▲ 498.9	▲ 529.4	▲ 559.9	
	増減率	-	▲ 21.2%	▲ 23.8%	▲ 26.3%	▲ 28.8%	▲ 31.4%	▲ 33.9%	▲ 36.5%	▲ 39.0%	▲ 41.5%	▲ 44.1%	▲ 46.6%	
	運輸部門	排出量	1,422.7	1,226.8	1,199.7	1,172.6	1,145.4	1,118.3	1,091.2	1,064.1	1,037.0	1,009.8	982.7	955.6
	増減量	-	▲ 195.9	▲ 223.0	▲ 250.1	▲ 277.3	▲ 304.4	▲ 331.5	▲ 358.6	▲ 385.7	▲ 412.9	▲ 440.0	▲ 467.1	
	増減率	-	▲ 13.8%	▲ 15.7%	▲ 17.6%	▲ 19.5%	▲ 21.4%	▲ 23.3%	▲ 25.2%	▲ 27.1%	▲ 29.0%	▲ 30.9%	▲ 32.8%	
	非エネルギー起源温暖化効果ガス	排出量	395.6	522.1	484.0	446.0	407.9	369.9	331.8	293.8	255.7	217.7	179.6	141.6
		二酸化炭素	排出量	88.7	89.7	85.5	81.3	77.1	73.0	68.8	64.6	60.4	56.3	52.1
増減量		-	▲ 1.0	▲ 3.2	▲ 7.4	▲ 11.6	▲ 15.7	▲ 19.9	▲ 24.1	▲ 28.3	▲ 32.4	▲ 36.6	▲ 40.8	
増減率		-	1.1%	▲ 3.6%	▲ 8.3%	▲ 13.0%	▲ 17.7%	▲ 22.4%	▲ 27.2%	▲ 31.9%	▲ 36.6%	▲ 41.3%	▲ 46.0%	
メタン		排出量	13.2	14.6	14.2	13.8	13.4	13.0	12.6	12.2	11.8	11.4	11.0	10.6
増減量		-	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 1.8	▲ 2.2	▲ 2.6	
増減率		-	11.0%	7.9%	4.8%	1.8%	▲ 1.3%	▲ 4.4%	▲ 7.4%	▲ 10.5%	▲ 13.6%	▲ 16.6%	▲ 19.7%	
一酸化二窒素		排出量	67.6	66.7	63.5	60.2	57.0	53.7	50.5	47.3	44.0	40.8	37.5	34.3
増減量		-	▲ 0.9	▲ 4.1	▲ 7.4	▲ 10.6	▲ 13.9	▲ 17.1	▲ 20.3	▲ 23.6	▲ 26.8	▲ 30.1	▲ 33.3	
増減率		-	▲ 1.3%	▲ 6.1%	▲ 10.9%	▲ 15.7%	▲ 20.5%	▲ 25.3%	▲ 30.1%	▲ 34.9%	▲ 39.7%	▲ 44.5%	▲ 49.3%	
代替フロン等4ガス分野		排出量	226.1	351.1	320.8	290.6	260.4	230.2	199.9	169.7	139.5	109.3	79.0	48.8
増減量		-	▲ 125.0	▲ 94.7	▲ 64.5	▲ 34.3	▲ 4.1	▲ 26.2	▲ 56.4	▲ 86.6	▲ 116.8	▲ 147.1	▲ 177.3	
増減率		-	155%	142%	129%	115%	102%	▲ 11.6%	▲ 24.9%	▲ 38.3%	▲ 51.7%	▲ 65.0%	▲ 78.4%	
排出量計			5,743.6	4,646.5	4,483.5	4,320.5	4,157.5	3,994.5	3,831.4	3,668.4	3,505.4	3,342.4	3,179.4	3,016.4
森林吸収量			-	344.0	336.2	328.5	321.0	313.5	306.1	298.9	291.8	284.9	278.2	271.8
合計	排出量	5,743.6	4,302.5	4,147.3	3,991.9	3,836.5	3,681.0	3,525.3	3,369.6	3,213.7	3,057.6	2,901.3	2,744.6	
	増減量	-	▲ 1,441.1	▲ 1,596.3	▲ 1,751.7	▲ 1,907.1	▲ 2,062.6	▲ 2,218.3	▲ 2,374.0	▲ 2,529.9	▲ 2,686.0	▲ 2,842.3	▲ 2,999.0	
	増減率	-	▲ 25.1%	▲ 27.8%	▲ 30.5%	▲ 33.2%	▲ 35.9%	▲ 38.6%	▲ 41.3%	▲ 44.0%	▲ 46.8%	▲ 49.5%	▲ 52.2%	

※増減量及び増減率は2013年度との比較による

※端数処理の都合上、合計値と内訳の数値が一致しない場合がある

3 基本施策別の削減目標

詳細は第5章で記述しますが、2030年度目標を達成するための基本施策として、以下の4本の施策を推進します。

- ・徹底した省エネルギーの推進
- ・再生可能エネルギーの最大限の導入
- ・新技術・イノベーションの推進
- ・二酸化炭素吸収源の確保

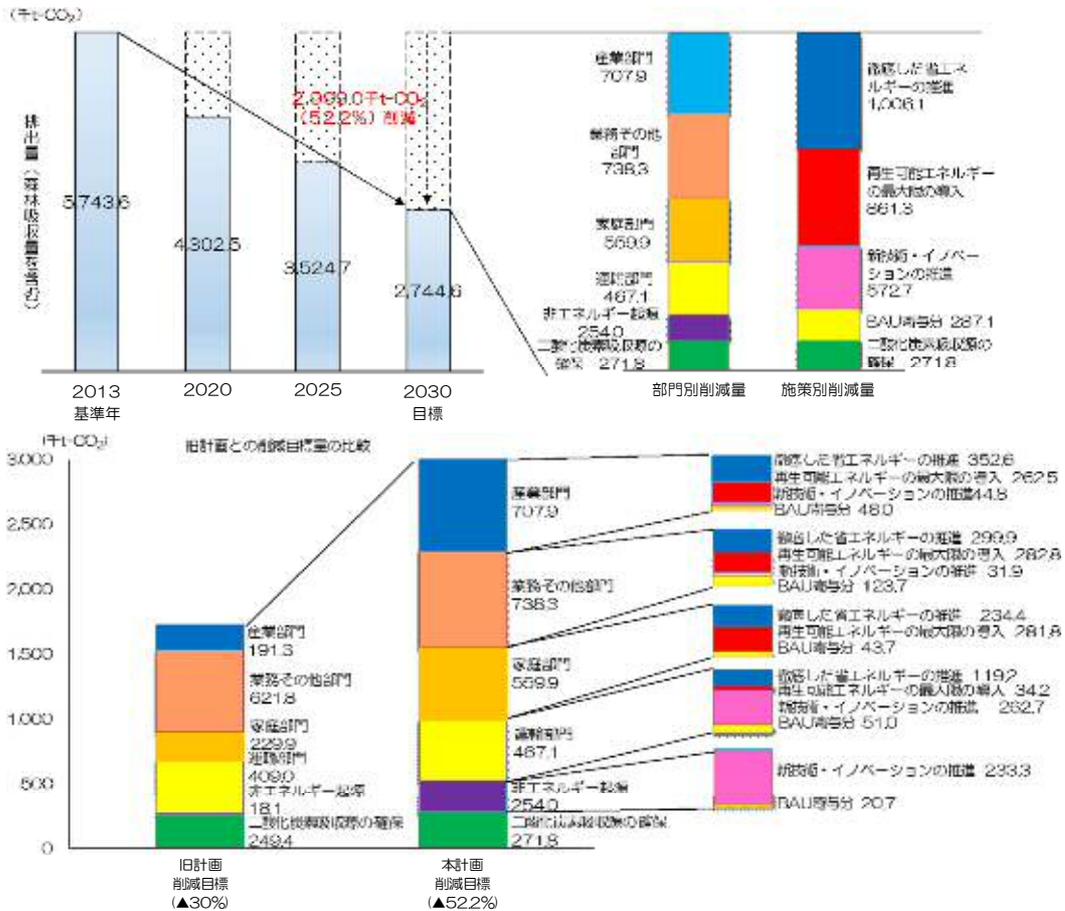
こうした4本の基本施策別の削減目標は以下のとおり。

図表 4.3 基本施策別・部門別の削減目標①

	徹底した省エネルギーの推進 (千 t-CO ₂)	再生可能エネルギーの最大限の導入 (千 t-CO ₂)	新技術・イノベーションの推進 (千 t-CO ₂)	二酸化炭素の吸収源の確保 (千 t-CO ₂)	BAU寄与分 (千 t-CO ₂)	合計 (千 t-CO ₂)	増減率 (%)
削減量	1,006.1 (1,006.1)	861.3 (751.4)	572.7 (572.7)	-	287.1	2,727.2 (2,617.5)	▲47.5 (▲45.6)
産業部門	352.6 (352.6)	262.5 (225.5)	44.8 (44.8)	-	48.0	707.9 (670.9)	▲53.6 (▲50.8)
業務その他部門	299.9 (299.9)	282.8 (243.5)	31.9 (31.9)	-	123.7	738.3 (699.0)	▲52.6 (▲49.8)
家庭部門	234.4 (234.4)	281.8 (248.2)	-	-	43.7	559.9 (526.3)	▲46.6 (▲43.8)
運輸部門	119.2 (119.2)	34.2 (34.2)	262.7 (262.7)	-	51.0	467.1 (467.1)	▲32.8 (▲32.8)
非エネルギー起源温室効果ガス	-	-	233.3 (233.3)	-	20.7	254.0 (254.0)	▲64.2 (▲64.2)
二酸化炭素の吸収量	-	-	-	271.8 (134.3)	-	271.8 (134.3)	-
合計	1,006.1 (1,006.1)	861.3 (751.4)	572.7 (572.7)	271.8 (134.3)	287.1	2,999.0 (2,751.6)	▲52.2 (▲47.9)

※枠内上段は、本計画の削減目標の基本施策別または部門別削減量

枠内下段の () 内は、国の「地球温暖化対策計画」及び「第 4 次静岡県地球温暖化対策実行計画」を基に算出した削減量又は削減率



図表 4.4 基本施策別・部門別の削減目標②